

貯 法：保存条件 室温保存
容 器 気密容器
使用期限：ラベルに記載
注 意：「取扱い上の注意」の項参照

日本標準商品分類番号
872612

承認番号	16100AMZ00098000
薬価収載	2012年6月
販売開始	2006年1月
再評価結果	1983年4月

外皮用殺菌消毒剤
日本薬局方 希ヨードチンキ
**希ヨードチンキ「日医工」
DILUTE IODINE TINCTURE

【禁忌】(次の患者には使用しないこと)

ヨード過敏症の患者

【包 装】

500mL

【組成・性状】

1. 組成

本品は定量するとき、ヨウ素 (I: 126.90) 2.8~3.2w/v%及びヨウ化カリウム (KI: 166.00) 1.9~2.1w/v%を含む。

100mL中 日本薬局方 ヨウ素 3g
添加物 日本薬局方 ヨウ化カリウム
日本薬局方 エタノール

2. 製剤の性状

本品は暗赤褐色の液で、特異なおいがある。

比重 d_{4}^{20} : 約0.93

アルコール数: 6.7以上

【効能・効果】

皮膚表面の一般消毒、創傷・潰瘍の殺菌・消毒、歯肉及び口腔粘膜の消毒、根管の消毒

【用法・用量】

本剤をそのまま又は2~5倍に希釈し、1日2~3回患部及び皮膚に適量塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1)眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。

(2)粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	ヨード疹等
皮 膚 ^{注)}	刺激症状

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード (PBI) 及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

4. 適用上の注意

(1)投与経路

外用にのみ使用し、内服しないこと。

(2)使用時

1)深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

2)同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥離を伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるので注意すること。

3)口腔内に使用するときは、患部を乾燥させて塗布すること。

4)引火性、爆発性があるため、火気には十分注意すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名: ヨウ素 (Iodine)

分子式: I

分子量: 126.90

【取扱い上の注意】

配合変化: マーキュロクロム液とは沈殿を生じる。

*【文献請求先】

日医工株式会社 お客様サポートセンター
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21
フリーダイヤル (0120) 517-215
Fax (076) 442-8948

**



製造販売元

日医工株式会社
NICHIKO 富山市総曲輪1丁目6番21